

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2011 年 11 月 14 日

派遣者氏名（専門分野）	田中 晶子 （ ドイツ現代史 ）
-------------	------------------

派遣期間	2011 年 7 月 28 日 ～ 2011 年 9 月 27 日
------	-----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
ドイツ連邦共和国	ベルリン	ベルリン州立図書館 Staatsbibliothek zu Berlin

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

【概要】

ベルリン州立図書館は、ポツダム広場館、ウンター・デン・リンデン館、ヴェスト・ハーフェン館の3つの館から構成され、3館共通の利用票で使用できます。ここでは、私の訪問したポツダム広場館とヴェスト・ハーフェン館について、通常の蔵書を利用する方法を説明します。

（ベルリン州立図書館のHP：<http://staatsbibliothek-berlin.de/>）

① ポツダム広場館

【交通アクセス】

ウィム・ヴェンダースの映画『ベルリン 天使の詩』に登場する図書館で、市の中心に近い、ポツダム広場とベルリン・フィルハーモニーの中間あたりにあります。最寄り駅は、200番のバスでヴァリアン・フライ・シュトラッセ停留所になり、そこから徒歩3分。地下鉄・市電ではポツダム広場駅で下車し、徒歩7分ほどで到着します。

【登録に必要な手続き】

利用するためには、まず1階右手奥にある登録受付で、①申し込み用紙に氏名・ドイツでの滞在先などを記入の上、②パスポートを添えて提出します。利用料金は、1ヶ月間有効で10ユーロ、1年間有効で25ユーロとなっており、同じ登録窓口で支払います。なお、利用票作成に必要な写真はその場で撮影（無料）してもらえ、即日から発行・利用可能です。また、ドイツ国内に定住先あるいは大学等の学籍をもたない場合、利用票を作成しても、館外への図書の貸し出しはできず、館内での閲覧・利用に限られます。

【利用方法】

1階左手に、ロッカーと有人のクロークがあるので、まず手荷物と上着を預ける。ロッカーの使用には、1ユーロのコインが必要ですが、使用後に返還されます。コートなどの上着を着ていると、入館のチェックで呼び止められるので預けておくこと。ラップトップ型のコンピュータや電子辞書などはカバーなどを外すか、図書館でもらえる透明なビニール袋に入れて、持ち込み可能です。1階の中央に蔵書領域への入り口があるので、管理人に、利用票を見せて入館します。

【図書の利用・注文方法】

通常の蔵書・史料は、オンラインで図書館ホームページの蔵書検索→指定・注文で申し込んで閲覧・利用します。

貸し出し中ではない図書であれば、おおよそ注文の4時間後に受け取りにゆくことができます。午前中に申し込めば午後から、午後申し込みの場合には夕方から、夕方の場合には翌日の朝に所定の受け取り場所に届いています。

ポツダム広場館の蔵書であっても、通常の図書であれば、ウンター・デン・リンデン館で受け取り、相互利用可能です。ヴェスト・ハーフェン館の蔵書は、基本的に他の2館に取り寄せて利用することはできません。

通常の蔵書の貸し出し・返却手続きは、管理人のいる1階の入り口の右手奥にある受付で管理されています。自分の利用票の利用者番号の下2桁の番号の棚に、注文した図書が置いてあるので、受付で閲覧・返却手続きをしてもらい、館内で利用します。

【蔵書・史料の複写】

2階の階段をのぼった左手にコピー・センターがあり、ここで複写することができます。コピーをしたい場合には、その旨、受付で申し出ると、利用できるコピー機の番号を教えてください。コピーした後は、受付でコピー機の番号と終了した旨を伝え、清算・支払い可能です。

また、図書をPDFに変換して複写する機械も一台あり、USBを持参すれば（コピー・センターでも購入可能）、かさばらずに資料や蔵書を複写でき、便利です。ただし、変換機は1台しかないので、夏休みなどは常時混雑しており、時間帯によってはかなり待つ必要があります。

② ヴェスト・ハーフェン館

【交通アクセス】

市電・地下鉄ともにヴェスト・ハーフェン駅で下車のうえ、倉庫街に沿って15分歩くと到着します。ちょっと入り口の場所がわかりにくいかもしれません。駅の出口に標識があるので、それに沿って進むとわかりやすい。

【利用方法・注意すべき+点】

ヴェスト・ハーフェン館は、青少年問題・教育関係の蔵書および新聞・雑誌の蔵書に特化した分館になっています。利用時間が他の2館よりも短いので注意すること。基本的な利用方法は、ポツダム広場館と同じです。

コピーは最初の10ページは無料、それ以降は利用者の寄付という形で、任意で支払います。青少年の利用者、および教育・社会的な目的で訪れる利用者に配慮してこのようなシステムになっています。理論的には何百ページもコピーしても無料なのですが、運営は寄付金による部分が多いため、1ページ6セントを基本にできるだけコピー料金を支払うよう、お願いします。